



尾関清子 東海学園女子短大(現東海学園大学)名誉教授
尾関清子先生講演会＆ワークショップ
素朴で単純と思っていた縄文布が、様々な方法で編まれていたことに魅了され30年以上、研究に没頭。縄文時代の布文化の地域性や起源について掘り下げた尾関清子さんが刈谷に。

50歳台後半から日本の縄文時代の遺跡をめぐり、縄文土器から網目模様を分析し、当時の技術を念頭に編みを行い布を再現。縄文布の耐久性を調べるために自分で縄文布で作った服を着て竪穴式住居で学生らと3日間泊まり込んで生活するなど、縄文時代の布を実証的に研究する第一人者。それまで縄文人は毛皮を着ていたらしいと思われていたが、尾関さんが縄文時代の縄文布について研究をしたことで、私達の縄文時代のファンションのイメージは大幅に塗り替えられることになった。東京に続き、刈谷で講演会＆ワークショップ第2回目が6月30日に開催された。縄文研究の今までとこれから、縄文布を作る為の機械の考案や制作秘話などの興味深いお話を聞き、実際に縄文人と同じ編み方を再現した。今でも通じる技術を昔の人ほどにして完成したのだろうか。手芸好きが高じて、88歳で博士号取得というユースは今後、いつでも好きなことを始めたり続けてみるきっかけになるのではないかでしょう。

文化工房かりやのメンバーが交代で、思い思いの文化情報を発信!

ラジオを通じてエバーグリーンに巡りあおう

Pitch FM市民チャレンジゾーンというラジオ番組の中には、音楽セレクト番組があります。私は、3年前から毎月、テーマを決めて邦楽洋楽を問わず曲をセレクトして「Mrs.kuchōのマイ・フェイバリット・ソング」という番組名で1時間たっぷりノンストップで大好きな音楽をお送りしています。

この番組を始めたのは、私が巡りあって感動した音楽を、ラジオを通して次の世代に継承したいと思ったからです。私の青春時代は、『レコード芸術』という言葉があった70年代後半から80年代音楽の過渡期でした。エバーグリーンに残る音楽も多く出た時代でした。『エバーグリーン』という言葉は英語で「常緑」「不

朽」を意味する名詞・形容詞にあたり、音楽の世界では「いつもでも衰えることのない」という意味から、「時を経ても色褪せない名曲」というニュアンスで使われています。また、好きなアーティストのCDアルバムを愛聴し宝物として大事にしていた時代もありました。私は、ラジオを通じてエバーグリーンの曲に一人でも多くの方に触れてほしいという思いを込めて毎月番組を作っています。Pitch FM(83.8MHz)のセレクト番組は、私をはじめそれぞれこだわりを持つ音楽好きの方々が番組制作しています。あなたのエバーグリーンに残る1曲に巡りあうかも…。ぜひ聴いてみてください。※セレクト番組タイムテーブルは、Pitch FMブログ<https://838.themedia.jp/>

[今回の担当] CDコレクション約2000枚! いまだにコレクションを増やし続ける“井野由美子”です。

文化・芸術とアイリスを身近なものに。

文化工房 カリヤ

市民目線の文化発信、「みんなで文化、創造中。」

〒448-0858 愛知県刈谷市若松町2-104
TEL:0566-21-7430/FAX:0566-21-7440
mail:bunkakobo@kariya.hall-info.jp

Twitter : @B_K_kariya

Facebook : bunkakouboukariya

Blog : bkkariya.wordpress.com

ANGIN 縄文時代の編布に出会ったことがきっかけとなり、考古学者に
尾関清子先生講演会＆ワークショップ

Column 文化工房 回り舞台 vol. 2

◆ BUN-KA *Kariya Culture* [ブンカ] 24 平成30年8月1日発行 August 1, 2018 issue
design / Takao Yuka 表行 〒448-0858 愛知県刈谷市若松町2-104
テザイン／廣見由佳 文化工房かりや広報部
2-104 Wakamatsucho, Kariya-shi, Aichi, 448-0858, Japan
edit/Bunkakobokariya public relations section
◆ 文化工房 カリヤ

ご自由にお持ちください

FREE



文化工房 カリヤ

好きだからできること

市民の文化にスポットライト

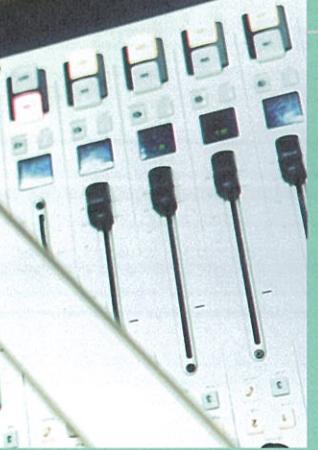
ぶんかのめ
Special



今思えば、この作品が
今のすべてのはじまりだった



THE BEATONIX 「4dogs straight out UTill Fam.」



ぶんかのめ vol.21

てし 1978年生まれ。刈谷市在住。2000年に初めての作品「THE BEATONIX 「4dogs straight out UTill Fam.」」をリリース。「03年にアパレルと音楽関連も扱うセレクトショップ『mil clothing』、「05年にバー「Good Sound Good Life Bar mil」オープン。「08年キャッチネットワークに入社後、「11年Pitch FMプロデューサーに。現在、番組・各種イベントのプロデューサーや司会として活動中。ラジオ番組「Pitch Beat Street838」木曜日パーソナリティ。



TESHI 氏
ラジオパーソナリティ

エリアコードを誇り、革新し続ける TESHIさん。

好きなことだけをやりながら、「もっと」を追求した
今ままに甘んじゃないアンチテーゼを発信する



ラジオやテレビ、そして地元のいろいろなイベントなどで活躍されていますが、TESHIさんのメインの活動は？

ひとつに絞るには決めかねますがメインといえるのはラジオパーソナリティで、もうすぐ20年になるかな。とともに音楽活動をやって音源をリリースした時に知り合いのラジオDJの方にCDを渡したら「ラジオやらない？」って誘われて。最初は自分たちのグループのPRやプロモーション活動として始めましたね。メールに目を通すとどれも感謝の言葉が溢れている。メールを読んでいると、「やってよかった」と。時には要望の意見もある。確かにスムーズに運営できなかったことや、自分たちが気づかなかつたことを教えてもらうこともある。アールマルシェをもっと素敵なものにしていくためには、出演者の方の意見や感想を十分受け止めることが必要であると思う。メールの内容には、もっと実力をつけて再度ステージで発表したいという方が多い。アールマルシェから更にステップアップして、いろんな場所で活躍している方もいる。私たち文化工房スタッフも共に成長し、出演者の方もお客様にも楽しんでいただけるアールマルシェを目指していきたいと思う。

【担当:原】

公演スケジュール

N°34 9月15日(土) 13:00~14:10

秋はもうすぐそこに
～アールマルシェで暑さを吹き飛ばそう～

出演

Piacere! (ピアチェーレ)《オカリナ♪アラカルト♪コンサート》 / Trioことり《フルート2本とピアノのトリオアンサンブル》 / ATKキッズ《エンジョイ! キッズダンス》

アールマルシェ本番が終わると、後日出演者の方から、お礼のメールが届くことがある。

好きなことをやり続けていくコツはありますか？

最近は、「こつこつのが作りたい」とちゃんと声に出すようにしています。例えば、さつきの「○○やれる場所」じゃないけど、クリエイティブなことをもっと気楽にできるようにしていけたらいいと。新しいことを言うと「それは昔から」「つて否定をよく耳にするけど、リスク回避ばかりでは出来ない化学変化の予想のよくな」それも大事だけど、今言いたいのはコレ」つていうのを伝えていること。楽しいことを好きなことをやっていったら、みんなが楽しいことをやって生きていける世の中になつたら、見たこともないすごい世界に突入できるんじゃないかなつて。そのためにも、これからも自由に楽しくやっていきたいですね。「担当:稻垣、鷹巣

「刈谷の人や文化」について、どう思いますか？

地元を好きな人、地元に誇りを持つて、何かをする時にポジティブなイメージを持って活動している方が多いから、都会に当たり前にあるのに刈谷にないって思うモノ：プレイする場所がもっと増えたいかな。「○○禁止」じゃなく、例えば「BBQは「○○ならOK！」っていうような「○○やれる場所」をいろいろ作つたらいいのってね。実際に体験できる場所があるのとないのでは大きな違いだし、住んでる地域の中で触られるチャンスがもっとあつたらいいなって。あと、公演・舞台を見に行つていうアーティストの高い人が周りに少ないように感じて、舞台を劇場で見る、ミュージカルをホールで見る、そういう経験値や選択肢や受け皿が増えたらいい文化がもっとできてくる気がする。どこかではなく「○○、刈谷で。

発信する立場として、今後やりたいことはありますか？

みんなの刺激になるようなアンチテナの役割みたいなことを仕掛けたいかな。自分が昔、衝撃を受けたように、触れた人がそこから自分から行動したくなるようなモノ：単なる回観板のようなお知らせでなく、自分も昔読んでた専門誌のように出会った人の何かのきっかけになれるような、そういうものを作り出したい。そして、みんながそれぞれ夢中になつたり、ヤル気がでたりする、そんないい連鎖のアウトプットができたならうれしい東京で活動している人達のミックスapeを聴いて「何だコレ！めちゃカッコイイ!!」ってなつて、そのまま音楽の道へ…